

阿知須小だより

めざす学校像
よさが輝く学校



学校教育目標 知・徳・体の調和の取れた教育の推進

地域と共にある学校をめざして～阿知須小は、コミュニティ・スクール7年目！～平成31年3月1日 No.13

大相撲 「阿知須場所」

校庭の片隅に土俵があります。この土俵を使うのは、1年に数日程度であり、北方八幡宮の相撲大会の練習のときだけです。私が子どもの頃は、郷土力士の活躍に胸を躍らせ、よく相撲をとっていたものです。

時代と共に、子どもの遊びも変化し、最近では、休み時間に相撲をとる子ども達の姿を見ることはなくなりました。ところが、ある日、子ども達が校庭の土俵を使ってよいかというお願いにきました。何でも、自分達で相撲大会を企画したそうです。もちろん、大歓迎です。

相撲大会では、男女共に寒い中、はだしで相撲（女子は尻相撲）をとりました。応援する子ども達も力が入ります。相手の力を体全身で受け止め、力を競い合う経験は、今の時代にも必要なことです。

3月には、2回目の「阿知須場所」が計画されているようです。熱のこもった「阿知須場所」にするため、子ども達と一緒に土俵の整備を始めました。3月の相撲大会も楽しみです。（文責 校長）



地域参加 「ひなもんまつり」

阿知須の冬の恒例行事となっている「ひなもんまつり」に2、3年生も見学に行きました。色とりどりに飾られたひなものあでやかさに、改めて故郷の魅力を実感していました。



昔遊び交流会 2月7日

1年生が老人クラブの方々と一緒に昔の遊びを体験しました。地域の方から遊び方のコツを熱心に学ぶ1年生の姿が印象的でした。

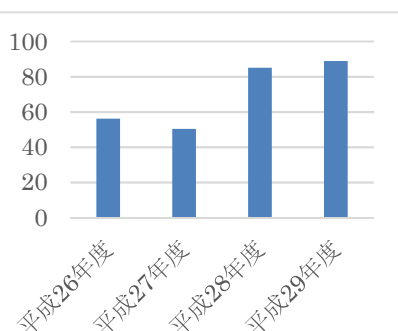


参観日のお礼

2月12日（火）は、本年度最後の参観日を行いました。多くの保護者の皆様に、参観いただきありがとうございました。来年度も、子ども達の成長した姿、学校の様子も含めて、ご覧いただきますようお願いいたします。



阿知須の子どもは本を読んでいるのか？



左のグラフは、阿知須小の子ども1人当たりの年間読書冊数のグラフです。ここ数年で、読書冊数が大きく増加しています。家読を始めとする読書指導の成果が表れています。（平成30年度は12月時点ですでに62.5冊！）

読書は、心を耕します。けれども、ある調査では成人の40%が1年間、1冊も本を読んでいないそうです。読書離れが進んでいるのは、私達大人の側なのかもしれません。